

やまぐち地域社会研究

The Journal of  
Yamaguchi Area Studies

横田尚俊教授退職記念号

山口地域社会学会

The Association for  
Yamaguchi Area Studies

2024

22号

## 横田尚俊教授退職記念特集号に寄せて

速水聖子

山口地域社会学会の学術誌『やまぐち地域社会研究』は、本号で 22 号を迎えることになりました。本号は、横田尚俊教授の山口大学人文学部定年退職を記念する特集号として編集されております。

横田尚俊教授は、平成 5 年に山口大学に着任して以来、人文学部において 32 年間にわたって教育・研究に貢献されてきました。この間、災害社会学の分野において、特に災害とコミュニティの関係について多くの業績をあげてこられました。日本の社会学における災害研究は、平成 2 年の雲仙普賢岳噴火災害・平成 7 年の阪神淡路大震災などが契機となって広く進められてきており、横田教授の研究はそれらをリードするものであったことも付記しておきたいと思います。

横田教授には、山口地域社会学会の会長も務めていただき、本学会においても設立以来、中心となって学会活動も支えていただきました。今号を横田尚俊教授退職記念特集号としましたのは、横田教授の長年にわたる教育・研究活動の労に報い、また本学会へのご貢献に感謝の意を示したいという意図に寄るところです。

今号では、横田教授に巻頭論文をご執筆いただいたほか、学内をはじめとして横田教授と縁の深い研究者の方々から論文をお寄せいただき、計 9 本の論文を掲載することができました。ご寄稿いただきました会員みなさまに心より御礼申し上げますとともに、横田尚俊教授のますますのご健勝とご活躍をみなさまと祈念いたしたいと思います。

# やまぐち地域社会研究

2024

第22号

## 目次

### 【論文】

- 災害研究と社会学 ——自らの研究を振り返って——  
横田尚俊…………… 1
- 鈴木広の社会学 その4：社会移動とコミュニティの実証的研究  
三浦典子…………… 23
- 都市における自己家畜化  
——結婚を介した「向社会性」の2重相続仮説に関する検討——  
高橋征仁…………… 45
- 小規模林家の営みからみた山村と林業の変遷  
倉重加代…………… 65
- 地方国立大学における入学・卒業時の地域間移動パターンと大学進学理由  
林 寛子…………… 81
- 「子縁」のコミュニティに関する試論  
速水聖子…………… 97
- けんか祭りの戦後史 ——森の祭りを事例として——  
谷部真吾…………… 111
- 山口市へのまなざしとその受容  
——The New York Times “2024年に行くべき52カ所”をめぐって——  
桑畑洋一郎…………… 131
- 新型コロナウイルス感染症流行下における献血の規定要因分析  
——危機的状況下において献血したのは誰だったのか——  
吉武由彩…………… 145

### 【研究例会報告】

## 山口地域社会学会誌編集規定

- 1 本誌『やまぐち地域社会研究』は1年1巻として発行する。
- 2 本誌は原則として本学会会員の社会学関連の研究及び山口地域社会に関する研究の発表にあてる。
- 3 本誌の掲載原稿は、投稿原稿と依頼原稿とからなる。
- 4 投稿原稿に対しては査読をおこなう。大学院生は指導教員の査読後提出のこと  
原稿締め切りは1月中旬
- 5 オフセット印刷に耐えるような完全原稿3部と電子ファイルを提出する。
  - a オリジナル原稿には、ページ番号を印字しない。そのかわりに、各頁の右上隅に鉛筆で記入する。
  - b 論稿とは別紙に、論文タイトル(和文と欧文)、著者名、所属、E-mailアドレスをいれる。
- 6 原稿の書式は『社会学評論スタイルガイド』にしたがうこととする。基本的な原則は以下のとおりである。
  - a 原稿はA4判 横書き 40文字×36行 図表とも16頁以内(400字52枚程度)、1頁目初頭の5行を、論文タイトル、著者名分として空欄とする。
  - b 上下左右のマージン(余白)を、以下に設定して下さい。

上マージン 35mm	下マージン 30mm
左マージン 30mm	右マージン 30mm
  - c 本文の字体は明朝体とし、文字サイズは10.5ポイントとする。
  - d 注と文献リストを別にする。本文、注等における参考文献の表示の仕方は、著者名(発行年: ページ数)、または、(著者名 発行年: ページ数)とする。
  - e 参考文献は、著者名、発行年、題名、出版社の順に記述すること。欧文の書名はイタリック体にするか、または下線を引くこと
  - f 注は、本文中の該当箇所の右肩に上付き文字で順に<sup>1)</sup>と番号をうち、注自体は本文の後にまとめて記載する。
- 7 本誌『やまぐち地域社会研究』に掲載された論文等を、山口大学学術機関リポジトリYUNOCAを通して公開する。
- 8 投稿先

〒753-8540

山口市吉田1677-1 山口大学人文学部 山口地域社会学会事務局

\*編集委員会からのお願い

基本的な書式で書かれていない原稿は受け付けないことがありますので、ご注意下さい。

『やまぐち地域社会研究』編集委員会

編集委員長：三浦典子

編集委員：辻 正二、坪郷英彦、横田尚俊、高橋征仁、速水聖子、谷部真吾、  
小林宏至、山口 睦、桑畑洋一郎

編集事務局：大谷泰子、瀬崎譲廣

やまぐち地域社会研究 22号

2025年3月31日発行

発行・編集 山口地域社会学会

責任者 横田尚俊

〒753-8540 山口市吉田 1677-1

山口大学人文学部山口地域社会学会事務局

印刷 (有)三共印刷

# The Journal of Yamaguchi Area Studies

2024

No.22

## CONTENTS

### THESES

- Disaster Research and Sociology : Retrospecting My Disaster Research  
YOKOTA Naotoshi ..... 1
- The Sociology of “Suzuki Hiroshi” Part 4 : An Empirical Study on Social Mobility  
and Communities  
MIURA Noriko ..... 23
- Urbanization and Self Domestication: A Dual Inheritance Hypothesis of Prosociality  
through Mate Preferences  
TAKAHASHI Masahito ..... 45
- The Change of the Mountain Village and Forestry from the Perspective  
of a Small-Scale Forester  
KURASHIGE Kayo ..... 65
- Mobility Patterns at Admission and Graduation and Reasons for Attending  
a Local National University  
HAYASHI Hiroko ..... 81
- An Essay on Communities Connected by Children  
HAYAMI Seiko ..... 97
- A Postwar History of the Collision Festival in Mori Town, Shizuoka Prefecture  
YABE Shingo ..... 111
- Gaze at Yamaguchi City and its Acceptance——Focusing on Movements Based  
on The Article of *The New York Times*  
KUWAHATA Yoichiro ..... 131
- Determinants of Blood Donation during the COVID-19 Pandemic: Who donated blood in Times of Crisis?  
YOSHITAKE Yui ..... 145

### The Report of Regular Meeting

The Association for Yamaguchi Area Studies

ISSN 1349—5054